

自治体職員の誇りを高める 公務員倫理研修

研修のねらい

- 公務の信頼性を確保するために、倫理意識の更なる醸成をめざします。
- 過去の不祥事事例に学ぶ気づきと課題解決力を養成します。
- コンプライアンス順守のための組織での取り組み方を習得します。

公務の職務は法令等をよりどころとし、公平性、公益性を強く意識したスタンスで日々行うべきものであるにもかかわらず、一部の不祥事や職務怠慢等により、短期間にかつ大きく公務の信頼性をおとしめる事態が散見されます。

この研修は、公務員の倫理観・倫理意識の醸成・向上を主眼点とした内容となっています。

倫理観・倫理意識は自分一人だけ気を付けてもあまり役には立たないと悲観的・傍観者的な意見もありますが、公務員一人ひとりの倫理観・倫理意識の積み上げが、結果として組織全体の有効性につながることを再認識できる研修カリキュラムになっています。

さらに、反面教師として他の不正・不祥事の実例を研究することにより、不祥事発生までのプロセス把握と課題解決力が身に付き、コンプライアンス順守の具体的な取り組み方を習得することができます。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

管理職向け（半日コース）	
1. 公務員倫理の現状認識自己チェック	◇ 個人ワーク ◇ ◇ 講師解説 ◇
2. 公務員に求められる倫理とは	
3. 公務員不祥事事例研究 ・3種の事例	
4. あなたならどうする（課題研究）	◇ 個人ワーク ◇ ◇ 隣接者意見交換 ◇ ◇ 講師解説 ◇
5. コンプライアンス順守と不正防止のポイント	
6. 望ましい職場風土とコミュニケーション	
7. まとめ	

全職員向け（1日コース）	
午前	1. 公務員倫理・コンプライアンス度チェック ◇ ワーク ◇
	2. 公務員倫理の理解 (1) 公務特性と公務に向けた意見 (2) 行うべきことと行ってはならないこと (3) コンプライアンスと職業倫理 ◇ 討議 ◇
	3. 事例紹介とその研究 (1) 公務員関連不祥事・事件統計 (2) 不祥事事件紹介と研究 I 経済的・精神的損失を招く不始末事件 II 不正の3要素・トライアングル
午後	4. あなたならどうする・実際の場面で (1) 課題：誘惑に負けないためには (2) 課題：不正のトライアングル対応 ◇ ワーク ◇
	5. あなたのグループではどうする ◇ グループワーク・発表 ◇ ◇ 講師講評・解説 ◇
	6. まとめ